

24時を過ぎた
シンデレラは



王子の異常な
愛に
執着される





魔法の
ドレスに
身を包んで

豪華なお城
夢のような
舞踏会



目の中には……



ふふ

まるで
おとぎ話から
出てきたような
美しい王子様

どうか
なさいましたか？



たとえ
ひと時の
夢だとしても
幸せだわ……

魔法使いの
おばあさん
ありがとう……!

……あ



王子様

素敵な時間を
ありがとうございました！



あぶなかつたわ

12時を
すぎるところ
だった



では！

あ……



早く
馬車に……

ほ



捕まえました

ふふ



……

ああ
美しい
マリエラ嬢

どうか
私の妃に……

これは想定外ね
そういえばわたくし
ものすごく足が
遅いのだったわ……

でもこのまま求婚を
受け入れるわけには
いかないし

ここは正直に
お話ししたほうが
良さそうね

あの

申し訳
ありません
王子様

わたくしは本来
あなたと踊れる
身分ではないのです

わたくしの本当の
姿を知ったらきっと
失望なさいますわ

ですので
わたくしの事など
お忘れになって……

……なるほど

よく
わかりました



ですが貴女も

残念ながら
私を理解できて
いないようです

……あら？
あらら？
なんだか雲行きが
あやしく……

あの
王子様……？



私が貴女を
理解していないと

そう
仰りたいのですね

ゆらゆら



ららでしよう

たつぷりと
教えて差し上げます

ひ……っ!?

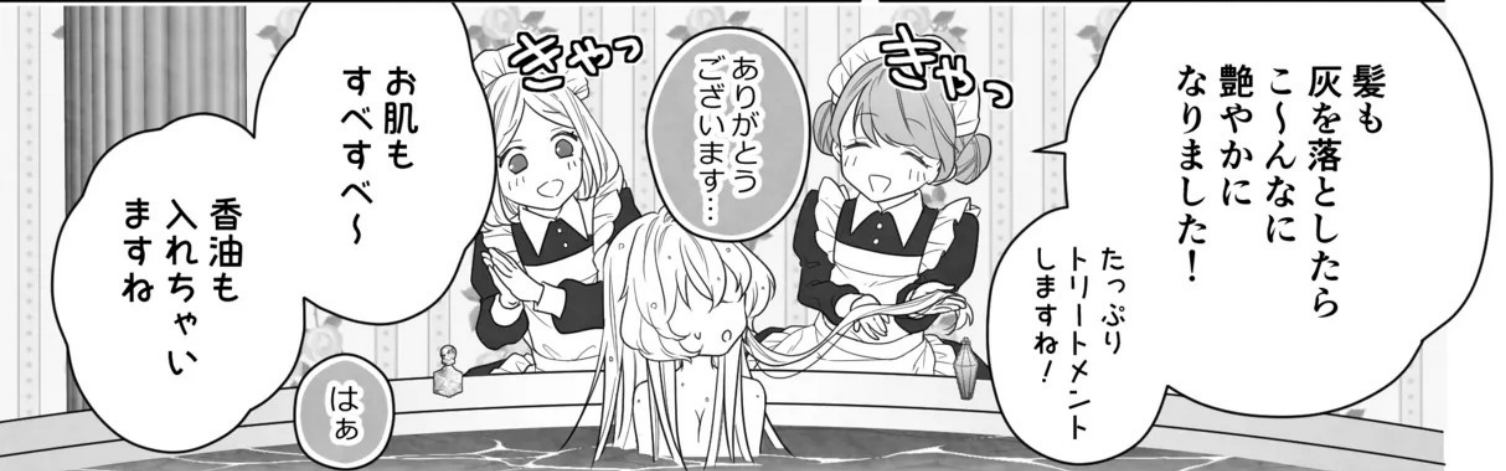


湯加減は
いかがですか？



…あ
気持ちいい
……です

王宮について
すぐ湯浴みに
案内されたけど…



髪も
灰を落としたら
こ〜んなに
艶やかに
なりました！

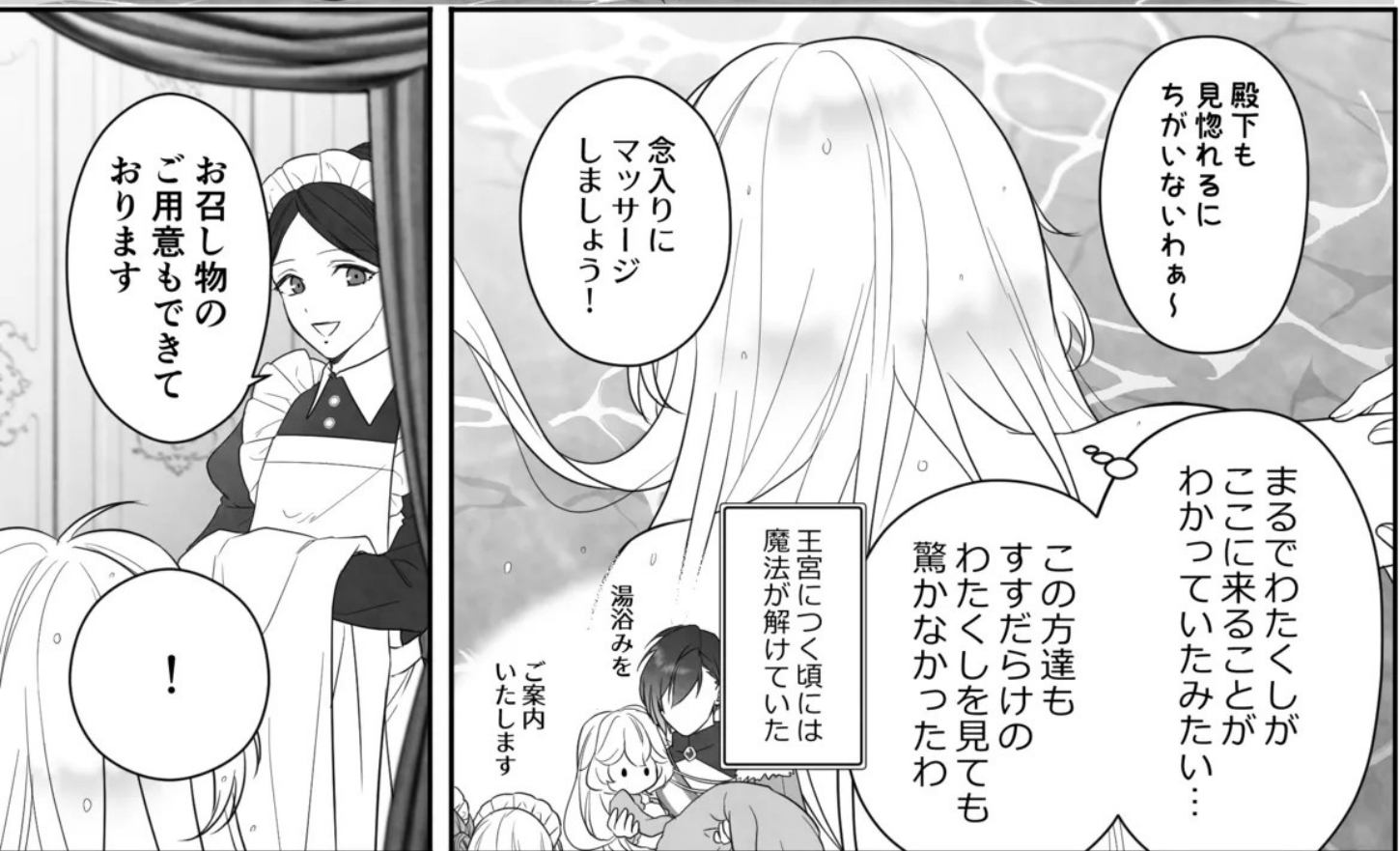
たっぷり
トリートメント
しますね！

きやっ
ありがとうございます
ございます…

お肌も
すべすべ〜

きやっ
香油も
入れちゃい
ますね

はあ



殿下も
見惚れるに
ちがいないわあ〜

念入りに
マッサージ
しましょう！

お召し物の
ご用意もできて
おります

！

まるでわたくしが
ここに来ることが
わかっていたみたい…

この方達も
すすだらけの
わたくしを見ても
驚かなかったわ

王宮につく頃には
魔法が解けていた

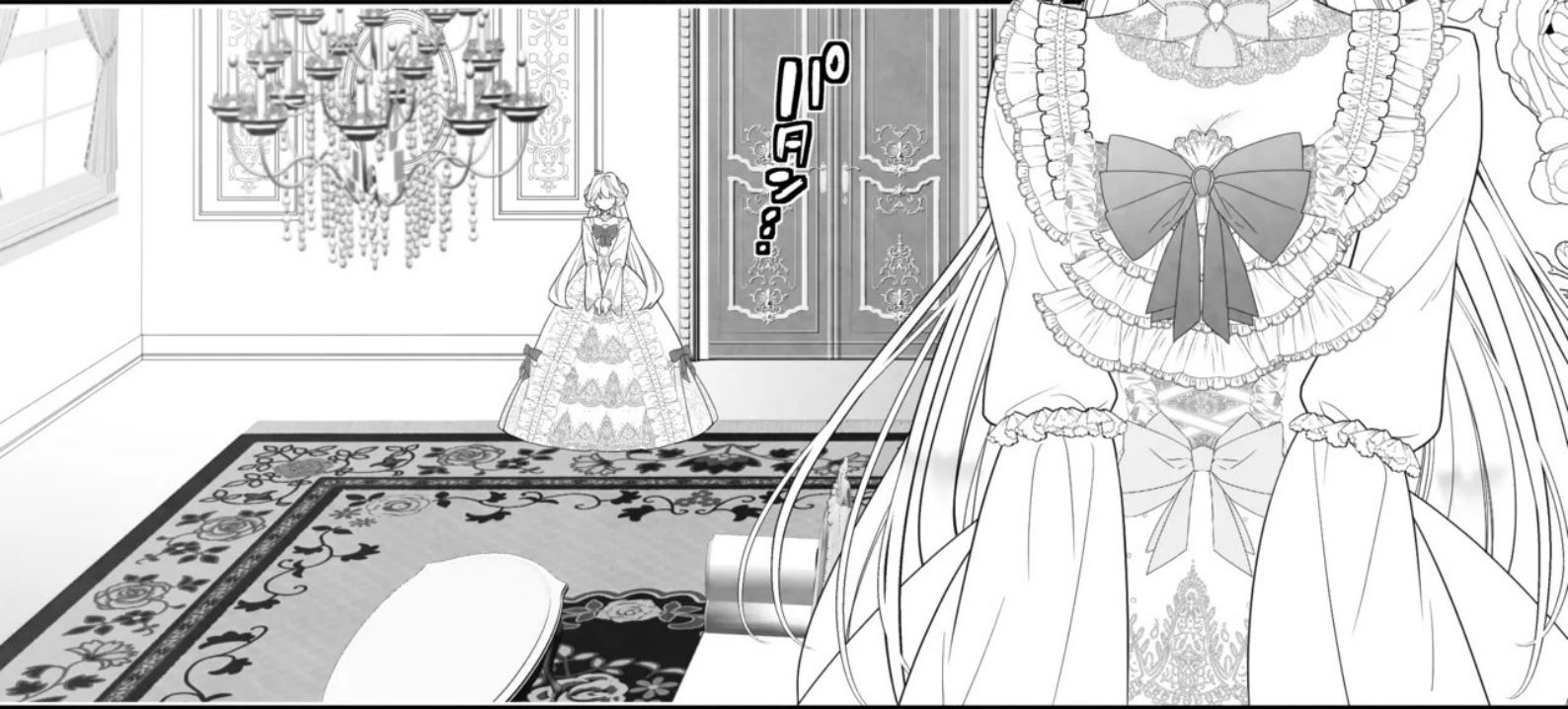
湯浴みを

ご案内
いたします



なにか
あったら
呼んで
くださいね！

それでは
こちらのお部屋で
お待ちください



ドクドク



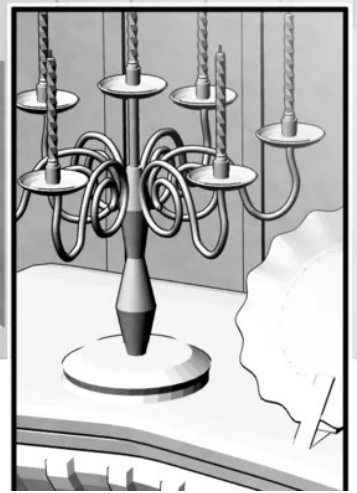
コンコン


まあ
素敵……

絵画も調度品も

すべて
わたくしの
好みだわ


この
ドレスも





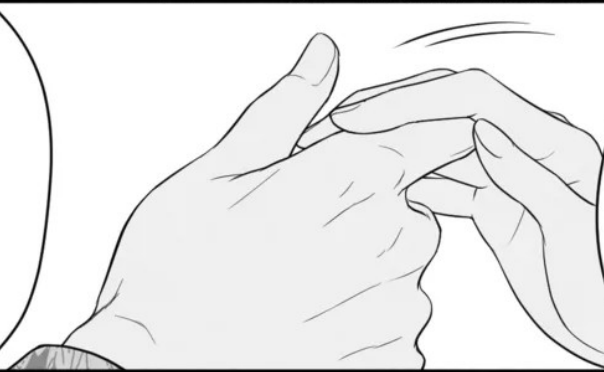
気に入って
いただけましたか？

王子様！



ユリウスと
お呼びください


そんな
恐れ多いですわ



すべて
貴女のために
用意しました

そのドレスも
この部屋も……
庭園にもご案内
いたしましたよう

何ひとつ
不自由させないと
誓います



ああ……やはり
よくお似合いだ

願わくば

その美しい瞳に
映るのが
私だけであって
ほしい……



……ま
まあ~~~~~



ちゅっ

なんてロマンティックな
ことをなさるのかしら！

本当におとぎ話の
ようだわ……！！

あまりの衝撃に
右手も震えて
きているわ……！！

恥ずかしいわ……

顔もきつと今
茹でダコのような

貴女を困らせる
つもりは
ありません

今日はこちらで
お休みください

返事については
ゆっくり考えて
頂いて構いません

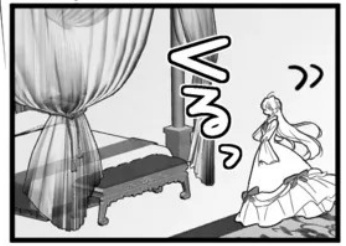
……

まあ

良い返事が
聞けるまで
何度でも求婚
いたしますが

……では

ハァン



んま~~~~~

んま...
んま...
んま...

んま~~~~~

なんだったのかしら今は
幻? 幻かしら???

紳士的でありながら
強引な一面も見せつつ
そのうえ眉目秀麗って

殺す気
かしら???

心臓が止まるかと
思ったわ

誠実そうで
素敵な方だわ

それでいて
一国の王子
だなんて

やっぱり私には
身に余るお話ね

明日丁重に
お断りを

...あら?
そういえば
先ほどお断り
しようとした
時だけ様子が
違ったような...

気のせい
かしら??

キイ...





のどが渴いて
しまって……

お水
ですわね！

すぐ
お持ちします！



あ！
マリエラ様！

いかが
なさいましたか？
お呼びくださったれば
参りましたのに！！



……
中で
お待ちください
ね！

侍女もなんて
可愛らしいのかしら

おい聞いたか？
王子の話！



！

王子様の……？

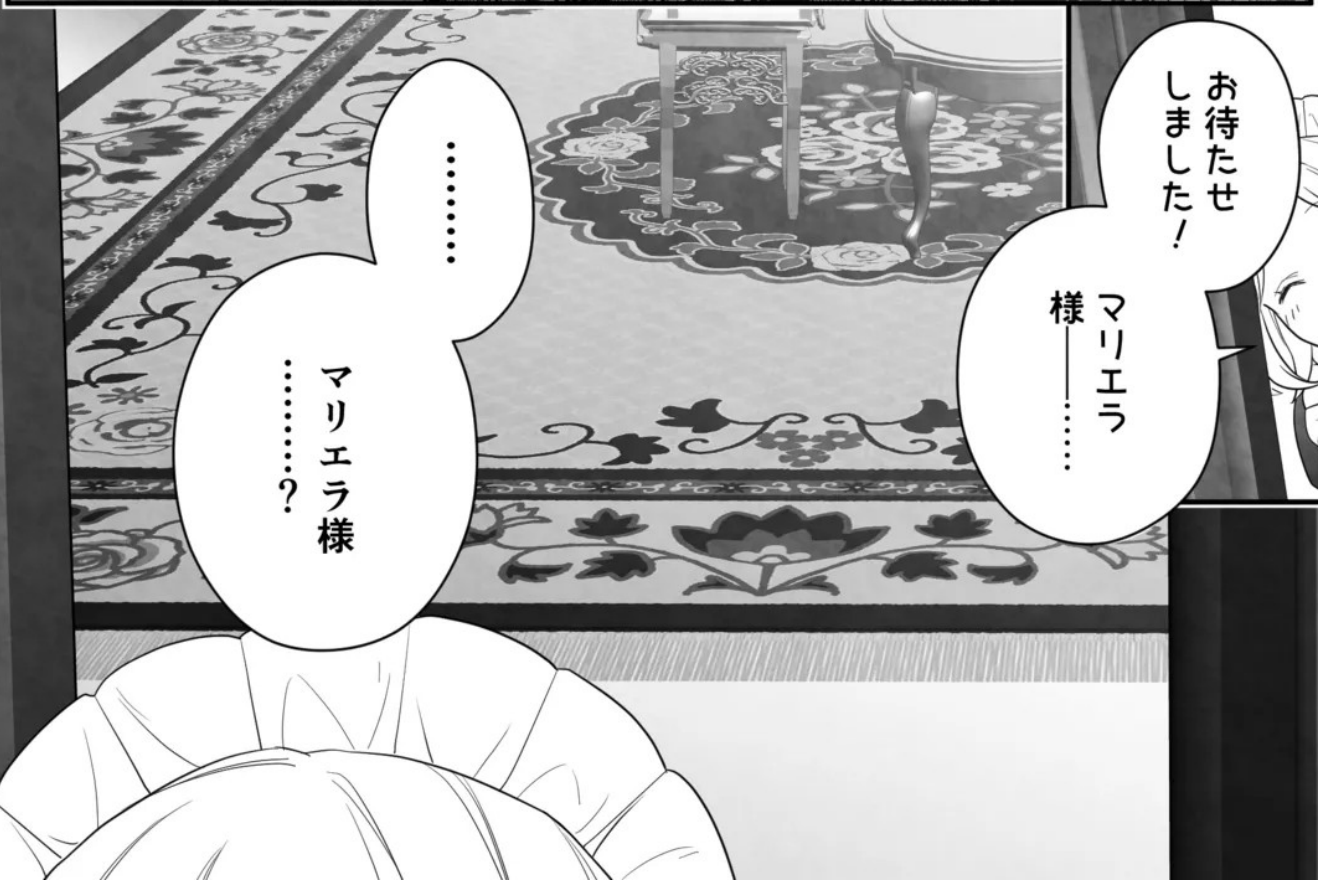
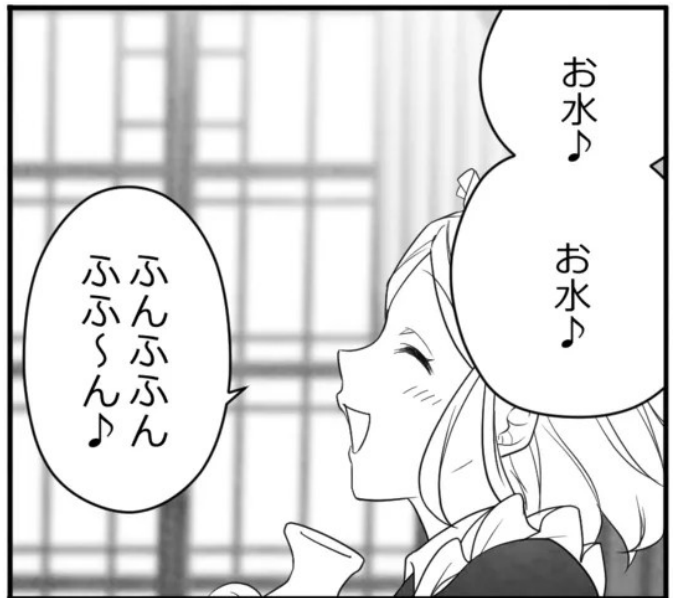
舞踏会のあと
またどっかの
令嬢をお持ち帰り
したんだとよ

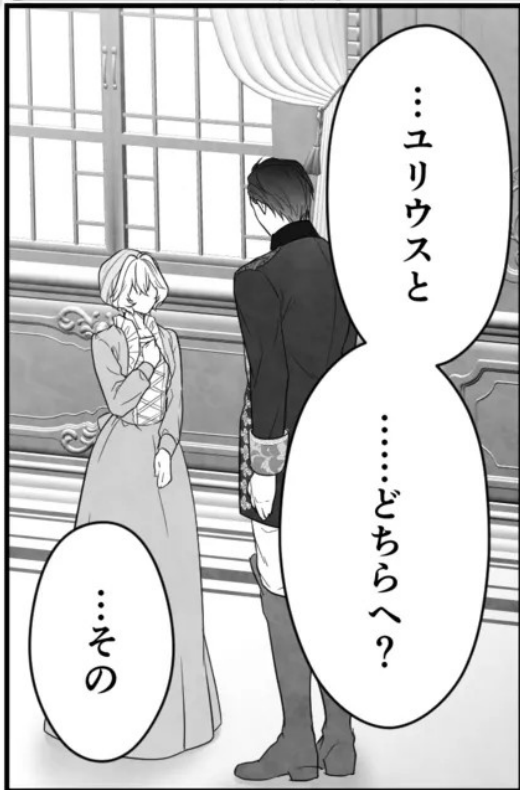
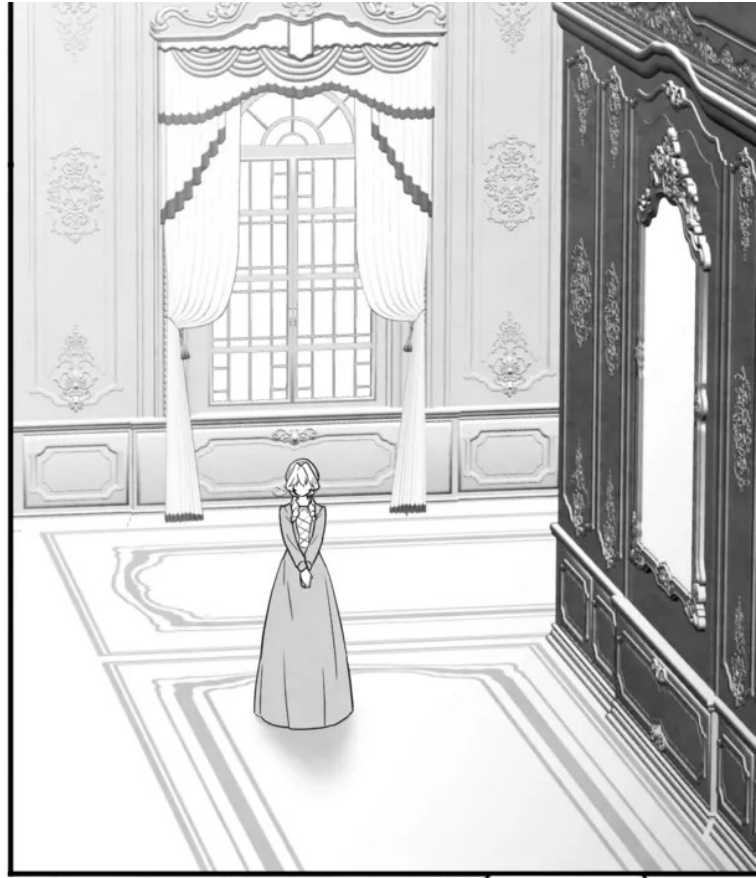
またあ？
これで何度目
かねえ

さあなあ
何回目だか
何人目だかも
わからないねえ

噂じゃすでに
隠し子も
いるとか……









……その服は？



ええと……

どうしましよ
うなんて言え
ば……
正直に言っ
た
ほうが
いいかしら？



なんだか怖

少し空気が
ピリツとして

一途つちやあ
聞こえはいいが
なんというか
……独占欲？
所有欲みたい
な
もんかな

とにかく
その令嬢の
事となると

異常なほどの
執着を見せる
って話だ



あら？

この雰囲気……
あの時と同じだわ

そういえば
第一王子の縁談は
いつだろうねえ

なんでも
長年思い続けてる
令嬢がいるんだと
幼い頃に
一目惚れした
とかなんとか

へええ
あんな男に好かれる
なんてさぞかし
幸せ者だろうなあ

それがそれでも
なさそうだよ

え？

まさかまた
俺から逃げようと
したのか？

.....
/N?
.....

—今なんて？

秀田気どころか
回調が……

聞きまちがい
かしら？

そしてこの
首に回された手は
なにかしら？

ロマンティックで
殺されそうとは
思っただけ

これでは本当に
殺されてしまうわ

…答えないのか？

ああああ
神様女神様 聖女様
どうかお助けを

あふれ出る殺気が
恐るしすぎて
答えようにも
声が出せないわ

………

ギ……

カ
カ

カ
カ

カ
カ









おっと…それでは
貴女の手の甲に
キスができなく
なってしまふね

いけない
いけない



手足を
切り落として
しまえばいい？



ああ……

俺の元から
去ろうとする
この小さくて
愛らしい足が
今は

する

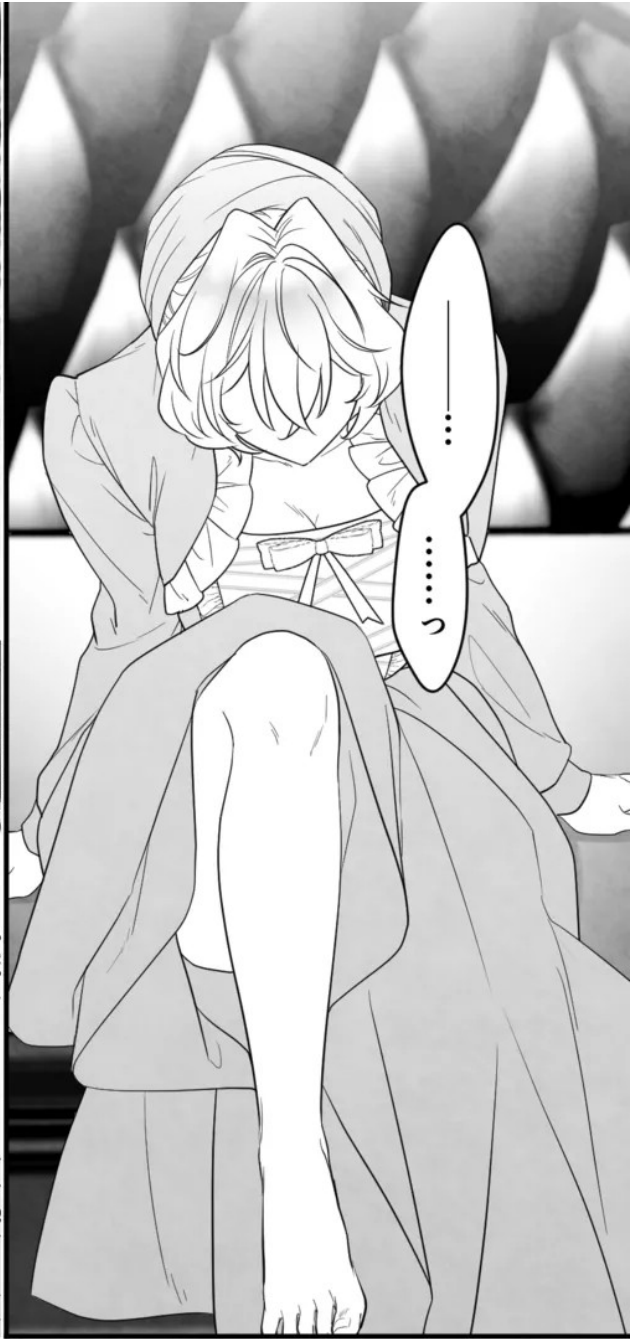
いた……っ



...そうか



っ...
っ...
っ...



...
...
...
っ



そうだ...

帰る服があるから...

そうだね



え...?



1#
7



7
7
.....
?





は……



は……



これでもう
逃げられないね？

ずっと
俺のそばに
いるんだよ



ああ愛しい
マリエラ……

すり……



私とした事が
我を忘れて
しまった……

許してほしい……



手荒なことを
してしまい
申し訳ありません！



一人称も
元に戻ったわ

口調が……

……！



いえ
そんなお気に
なさらなくて下さい

出血だって
ほんの少しです



ああ
美しい足から
血が……

まさか私が
貴女の体を傷つけて
しまうなんて……



私のせいで
できた傷を
見ていたら
いてもたっても
いられず……

どうかもう少し
貴女の足に
触れることを
お許しください







その…
何でもなくてっ
その……



……っ!
あ…
あのっ
違うんです
今のは……っ



……ん?

——っ!

かあっ



すみません

反応が
可愛かったもので
つい……

でも反省の
気持ちは
本当ですよ



びっ

ひどいすわ!
わざとでしたのね
……!!

……もうっ

やめてください
ませ……っ



しっ

もちろん

貴女への
思いも……
ね?

はっ

しっ



私に翻弄される
貴女が見たい



ちゅっ

貴女の色んな姿を
見ることができて
嬉しいです

ちゅっ



凛とした姿
柔らかく微笑む姿

恥ずかしがる貴女も
少し怒った貴女も
すべてが愛おしい

つつー……



とりわけ
今は





っは…



ヌルッ

!



どうして舌を…

ん…不思議な感触…



頭の中までかき回されてるみたい

ん

なんだかだんだんぼうつとしてくるわ

ん



…わたくしからも入れたほうがいいのかしら？

…えいっ



!



ドゥ
サ
…

っ!?









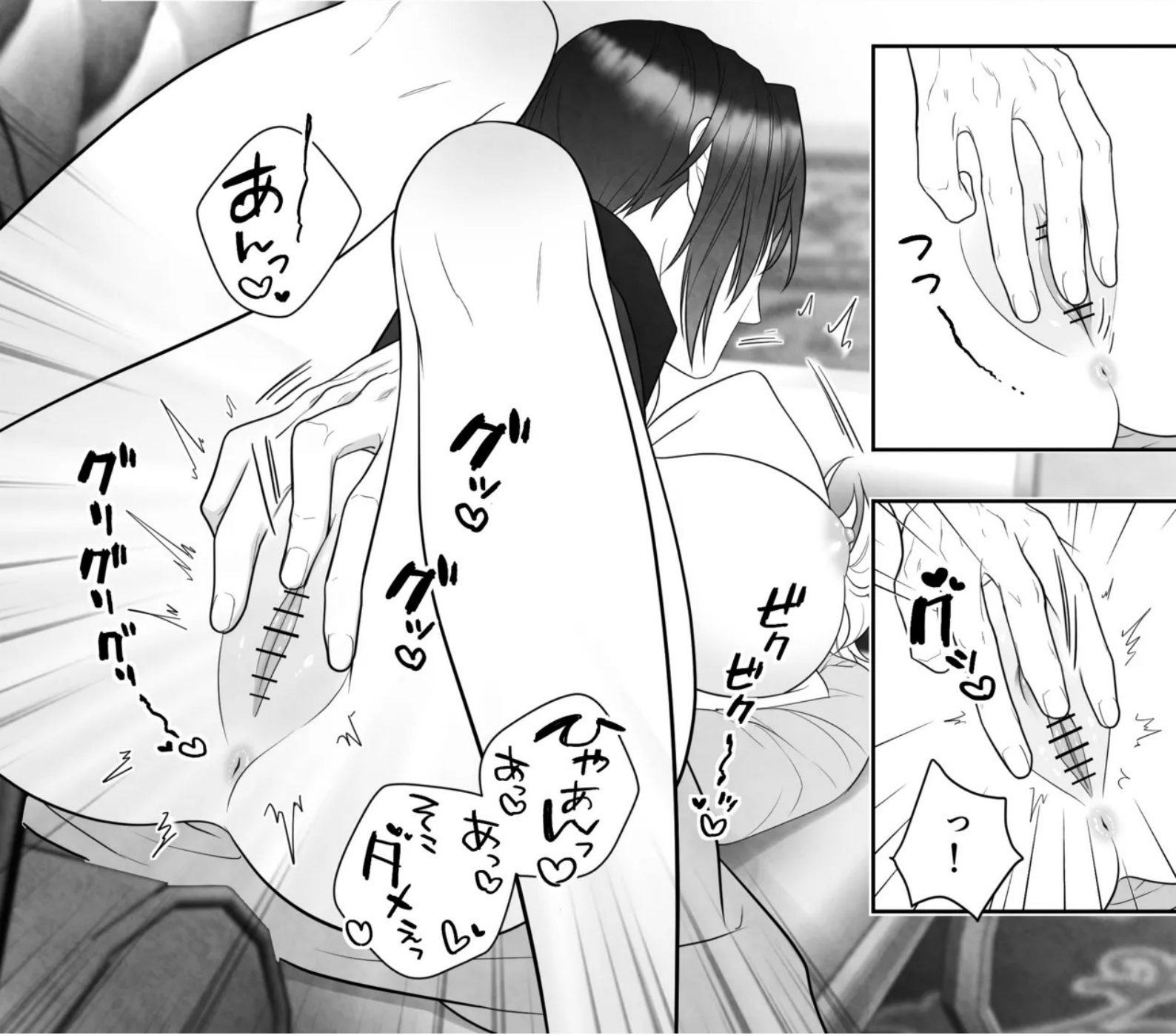
どうして
湿っている
のですか？

……っん

ジュウジュウ

——おや

ジュウ……ッ



ジュウジュウ

ジュウジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウジュウ
ジュウジュウ
ジュウジュウ

ジュウジュウ



ジュウ



どんだん
とろけていく
貴女の顔も……

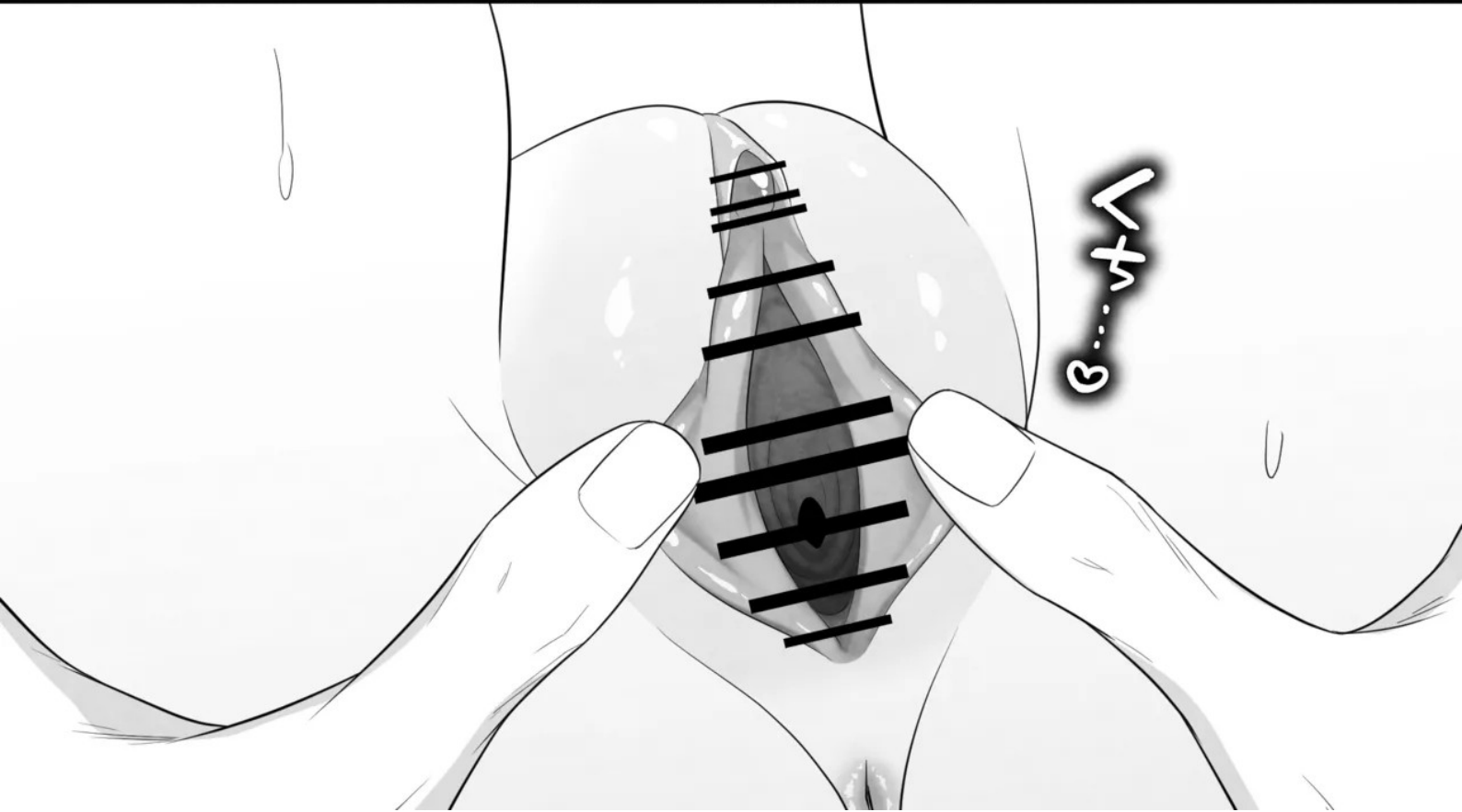


ふふ
なんて愛らしい
のでしょう
その声も



もっとよく
見せて？

ああ
恥ずかし
がらないで



は……



可愛い貴女を
もっと見せて？

どうして？



や…っ

みないで…



ちゅっ♡

ジュワッ♡

んっ♡

ふふ
湿った膣口も
熟れた
クリトリスも



まるで
私の愛撫を
求めているかの
ようです



小さくて
綺麗な
ピンク色…
クリトリスが
赤く膨張して
いますね

……っ



...はは

こんなに溢れさせて愛らしいですね



...ですが知り合っ間もない男に

いささか不用心では？

はは...



他の男にも同様なのか心配になります

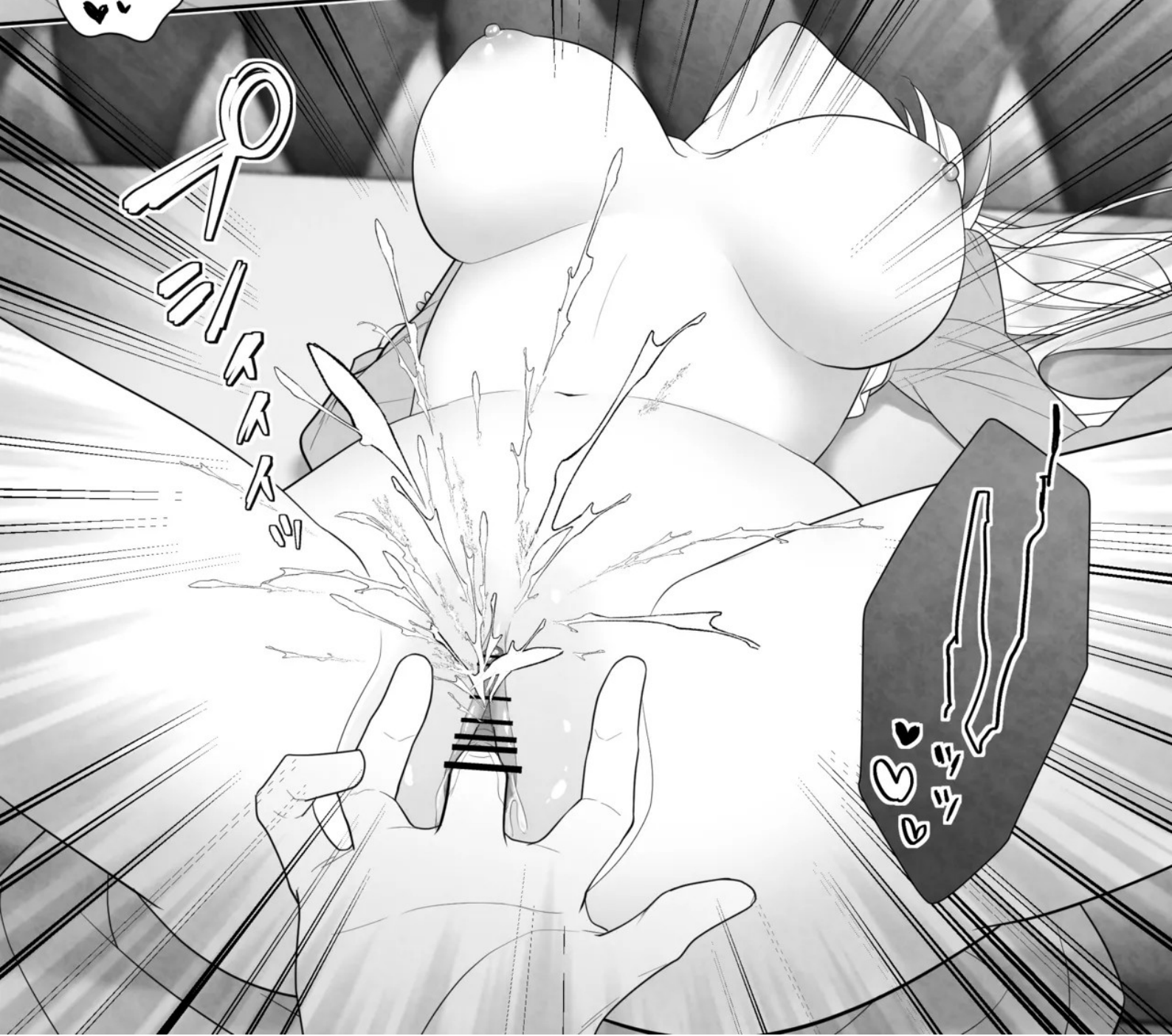
あ...

はは...はは...

あ...

トク...トク

はは...





いいじわる
ですわ
こんな……っ

ちゅっ
ちゅっ

うん
ごめんね
いいじわる
でしたね

……うっ
こんな……
辱めを……っ

うんうん



……っ

う……っ



ああ
マリエラ
泣かないで

……っ



……えっ？



では今度は
私の番です



マリエラにばかり
無理を強いて
しまいましたね
よしよし



ほら
よく見て
マリエラ

これが今から
貴女の初めてを
奪うものです



すい
る

ん



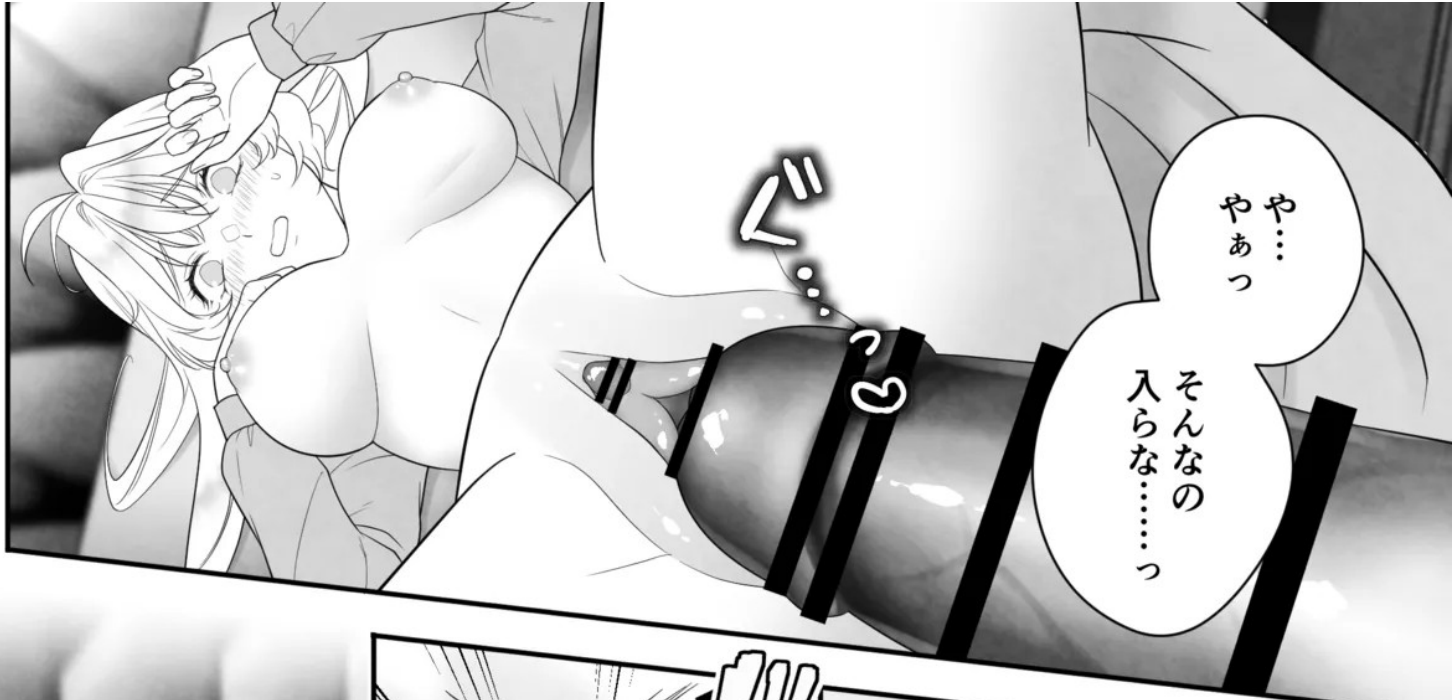
その奥の子宮口に
容赦なく子種を
注ぎ込むものです



貴女の
処女膜を
突き破り

柔らかく未成熟な
膈壁を無理やり
こじ開け

プ...



や...
やあつ

そんなの
入らな.....っ



そうですね...
とても

たっぷり
ほぐしてからとも
考えたのですが

やはり初めてを奪う
私をしっかり感じて
いたきたいので

無理やり
ねじ込むことに
しました





……おや
まさか達して
しまったの
ですか？



……ああ
なんて
愛らしい

ちゅっ♡
ちゅっ♡



ジュ♡
ジュ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡



このまま
奥まで
入れましょうね

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡



おん♡
おん♡

おん♡
おん♡



はー♡

はー♡

う……
うう

い……

……っ

全部
入りましたよ
マリエラ

ああなんて
熱くて窮屈
なんでしょう

マリエラ
痛いですか？

ツツ
ツツ……♡



ああ可哀相に
愛しのマリエラ

でも安心して？
痛いのは初め
だけですから

だから……

ちゅっ♡

ちゅっ♡

俺が与える
痛みをしつかり
覚えておくんだよ？





は……っ
っはは……



もう気持ちよく
なってきたのかな？
いい子ですね

マリエラ
誰のもので
悦んでいるのか
言ってごらん？





うんうん
そうですね

ゆり…
う…す

……っ



違うでしょう
マリエラ？

お…うじ
お…うじ



子宮口が
下がってきてる

あ
俺を迎える準備が
できているんですね
ふふ…
かわいい

うん
イっていいんだよ

あ…
あ…
あ…



とちや

とちや



びゅるびゅる

♡
♡

俺の愛を全部
受け止めるんだよ

びゅるびゅる

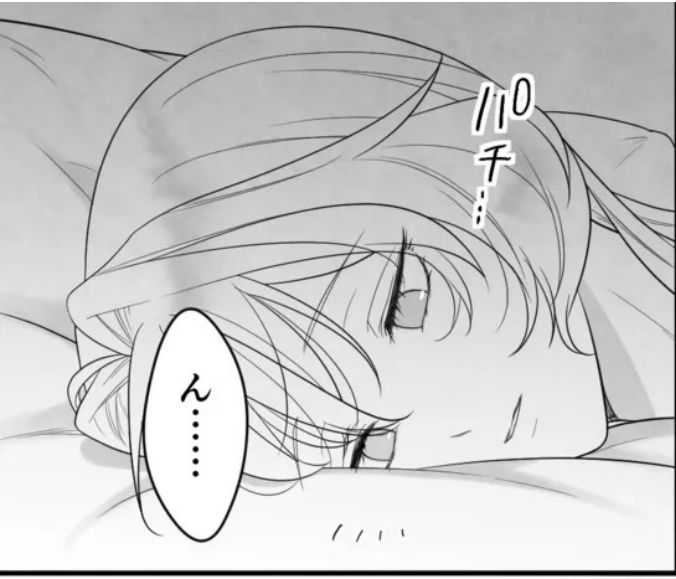
はは

はははは...

はははは

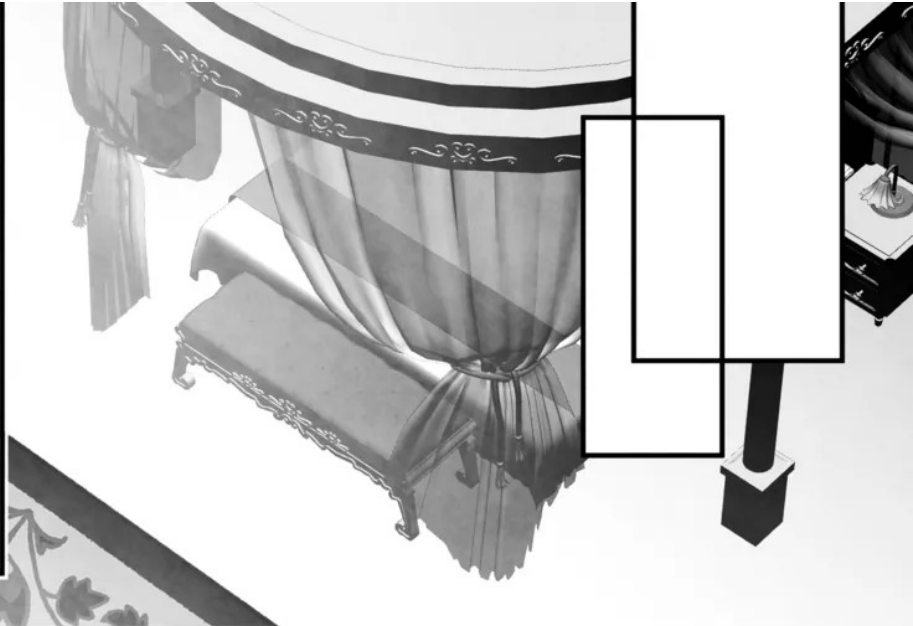
はははは

はははは



110
千

ん……



そうだわ
さつきまで……

おかげで今も
お腹が痛い

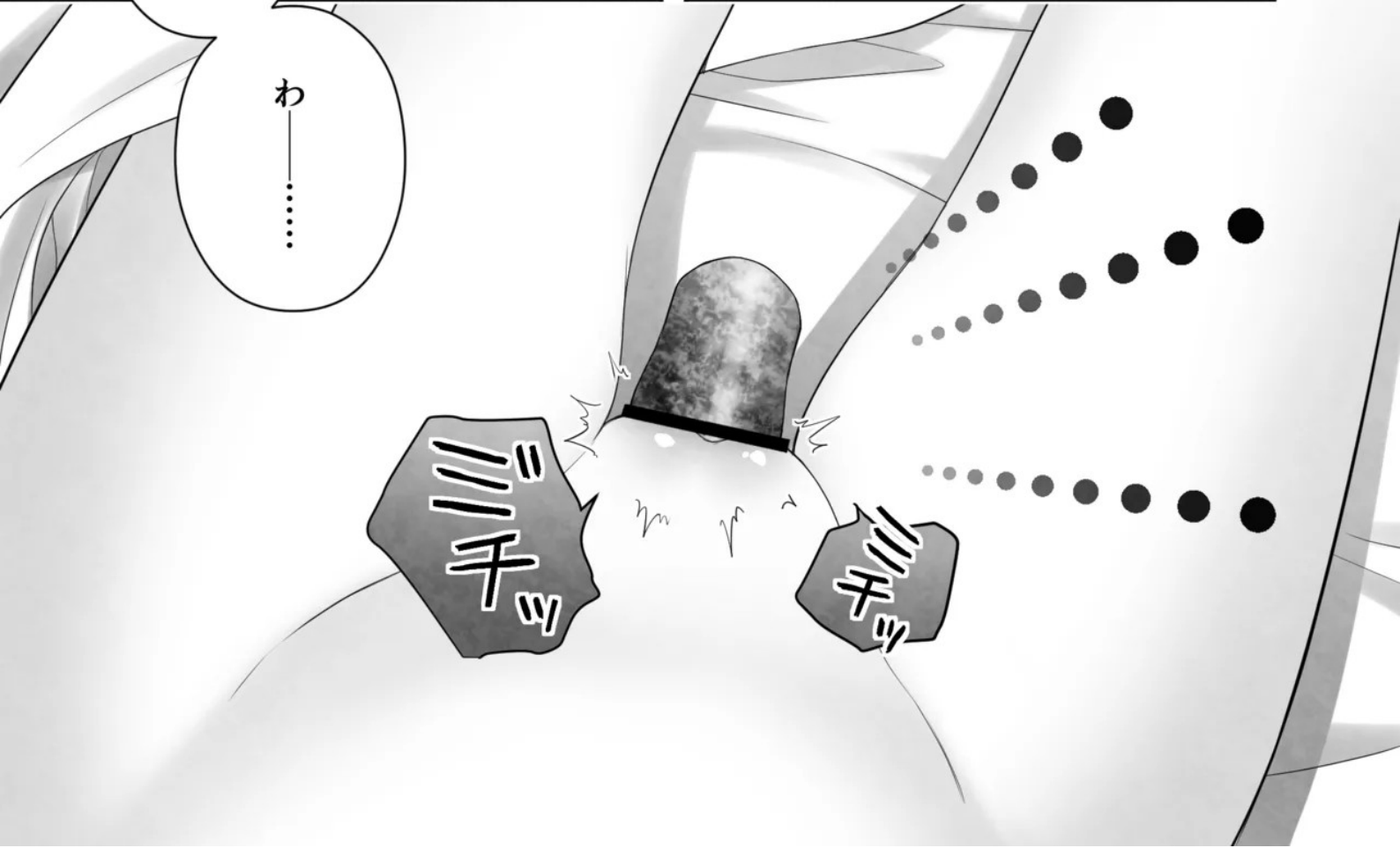


ああ
気がつきましたか
マリエラ

あら
わたくし……?

ふふ気絶して
しまったんですよ

初めてだったのに
激しくしすぎて
しまいましたね



わ……

110
千

110
千



……それがなぜ
今ここに……？

おや他に
どこに使うと
いうのですか

貴女しか
いません



ああ
それですか？

特注です
私と同じ
形なんですよ



そういう事
ではなく……っ

どどどどど
いれっばなし
に……っ!?

ああ
そういう事
ですか

抜いてみれば
わかりますよ



さあほら
力を抜いて？



ぬ……くっ

ふふ私が
致しましょうか？



それでは
こうしましょう

グサッ
グサッ



.....う...っ

グッ



痛い
ですわ...

先ほどよりも...

.....ああ

痛くして
しまって
すみません



な何を
なさるの...?

変わりませんよ
抜くんです

ナカを
たっぷり
濡らします



ヌルン
ちゅぷ

!



ちゅぷ♡
ちゅぷ♡
ちゅぷ♡



はむ♡
はむ♡



水音が直接頭に響いてくるみたい

片耳をふさがれて濡れた音と甘い吐息しか聞こえないわ

頭がふわふわする……

ちゅぷ♡
ちゅぷ♡

は

あ

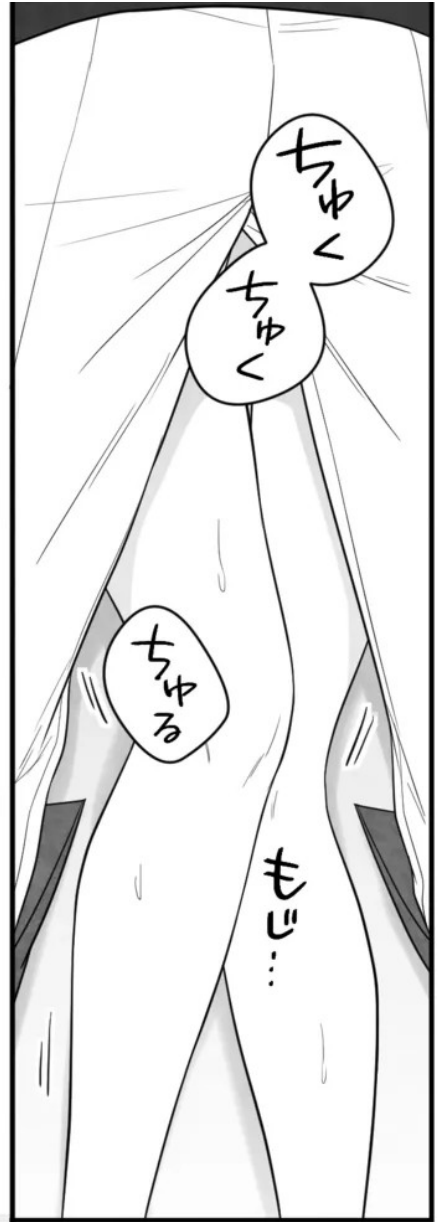
ちゅる
ちゅる



たっぷり
濡らさないと
痛くして
しまいますよ
…それとも



あの…
…んっ
もうよろしい
のでは…っ



ちゅく
ちゅく
ちゅる
もじ…



もう十分
濡れているの
ですか？
ポソッ



…別に
私のを啜えこみながら
乾いていたことなんて
気にしていませんよ



も…
もうっ
からかわないで
くださいませ…っ
ふふ
すみません



痛い
すわ

あ……

ちよきの……



……ああ

痛く
すし

それは

気絶していた
のですから
仕方のない
ことかと……

プライドが
傷ついたりなんて
していませんよ



どうしたら
機嫌を直して
くださいますの？

ふふ
機嫌は悪く
ありませんよ

ただ貴女に
いじわるをしたく
なっているだけです



ちゅっ
ちゅ

……？
キス？

ちゅらー！

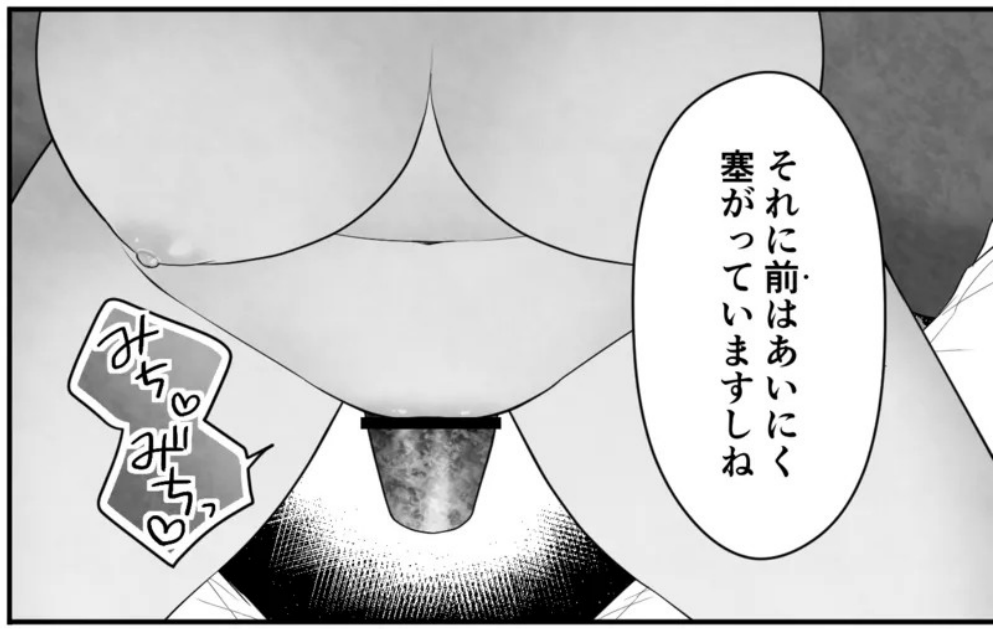






ふふ
言ったでしょう
いじわるを
したくなつたと

な…なつ
どごを触つて
いらつしやるの…!?





お…しりに…

こんな…っ

……そ
そう言い
ましても…っ



キヤン

キヤン

マリエラ
力が入って
しまっています

リラックス
して？



ゴニッ…

……そそります



ふふ
ぎこちなさが
たまらないですね



……！



……っ

ああの
お腹に
あたって…



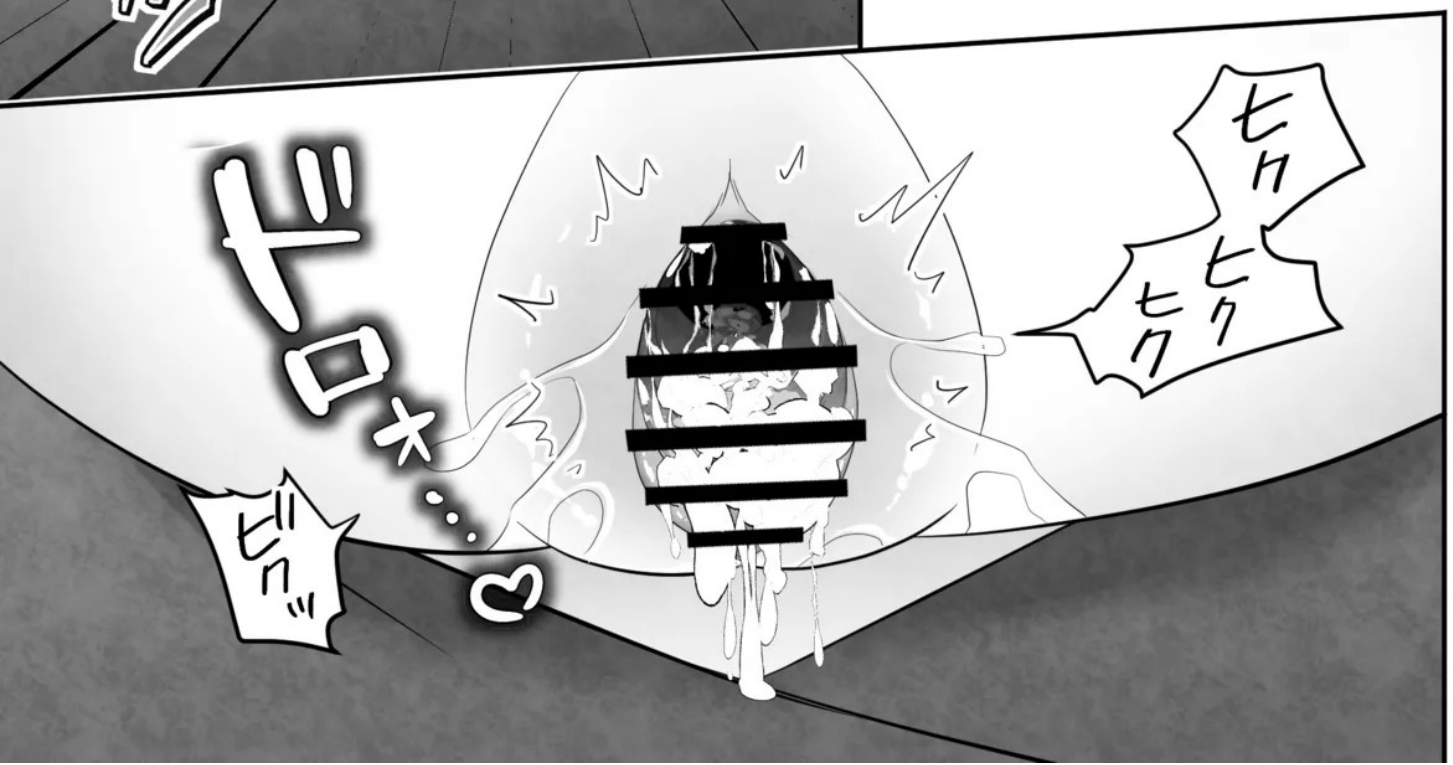
ゴニッ

ゴニッ



……………ん？







はい……っ♡

……っ
……っは



痛くないですか
マリエラ？



お……



まさか玩具なんかで
イってしまったの？

マリエラ
マリエラ？



寝るんじゃない
ありません

まだ終わって
ませんよ



マリエラ
しっかり
しなさい
マリエラ

……
あまり気分が
よくないですね

貴女のものか
どちらなのか

体できちんと
覚えなさい

ん...

ん...
ん...
ん...

ゴ...ゴ...
ゴ...ゴ...

す

す
す



玩具を入れたまま生活して頂こうと思っ
ていました

少々改める必要があり
そうですね



まさか己をかたどったもの
にまで嫉妬してしまうとは...

我ながら驚きます



いいですね？

マリエラ



今後俺以外で悦ぶことは

一切許しません



マリエラよく感じて？

これが俺のものです

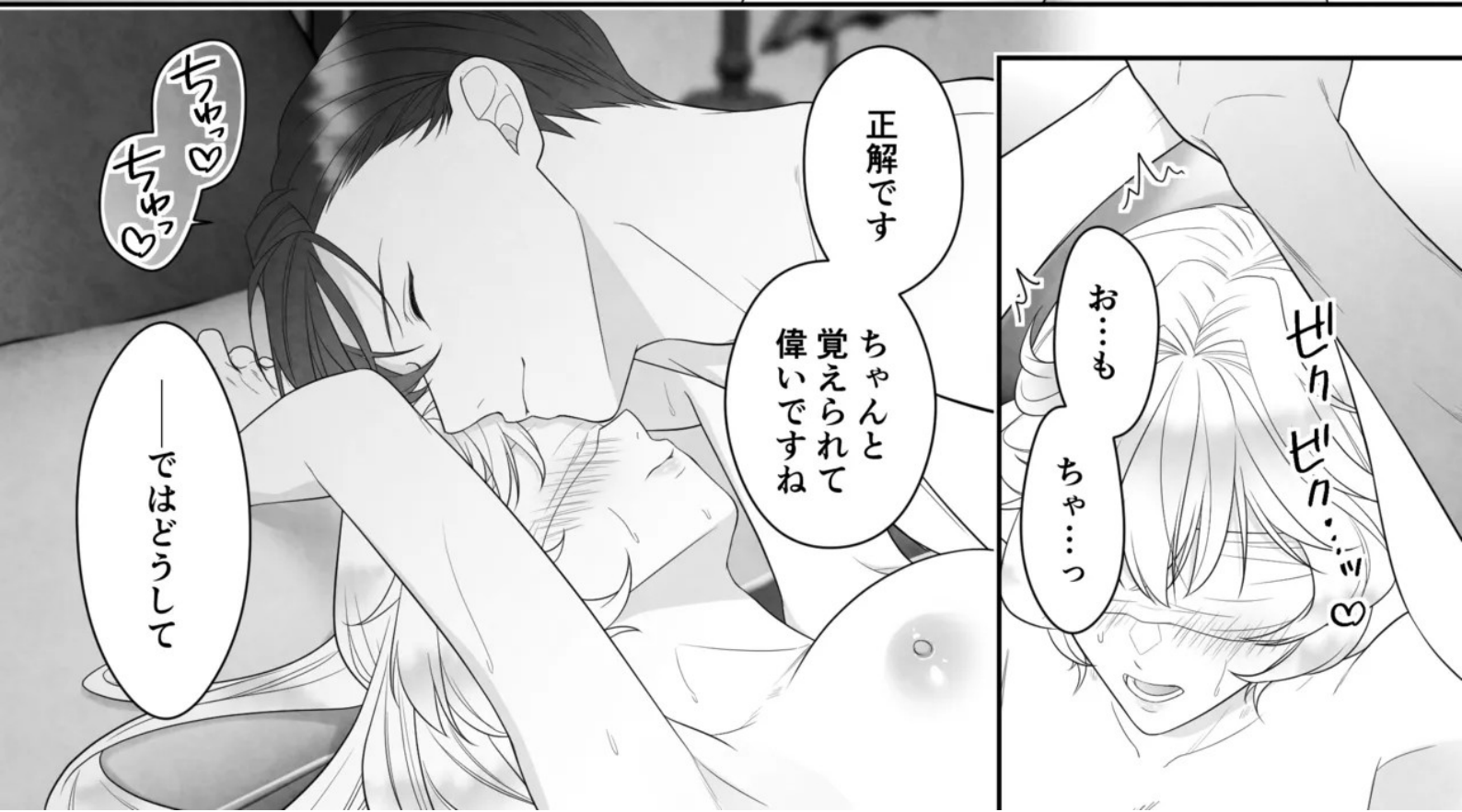


さあマリエラ
答えて？

は
は
は

これはどっこい？

フッ... フッ...
フッ... フッ...



正解です

ちゃんと
覚えられて
偉いですね

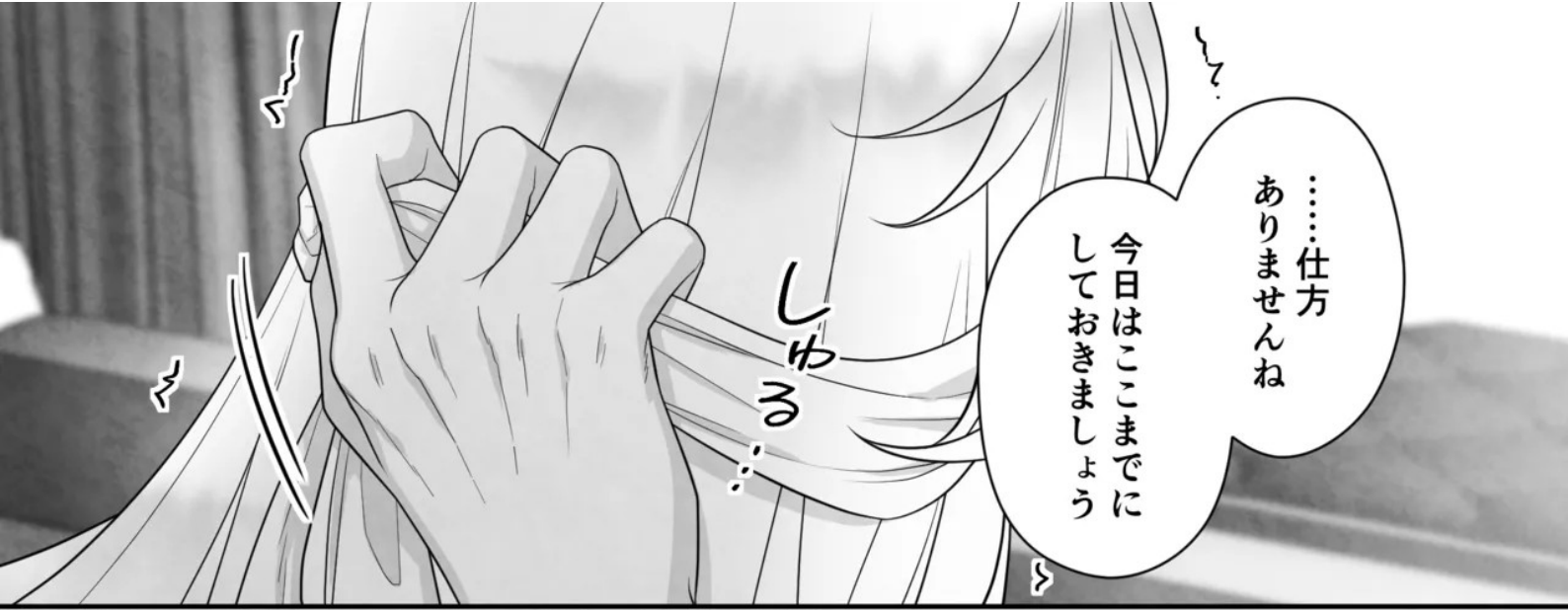
お...も

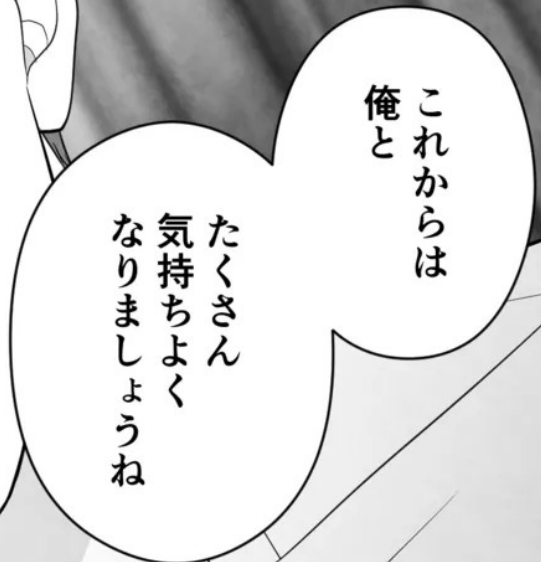
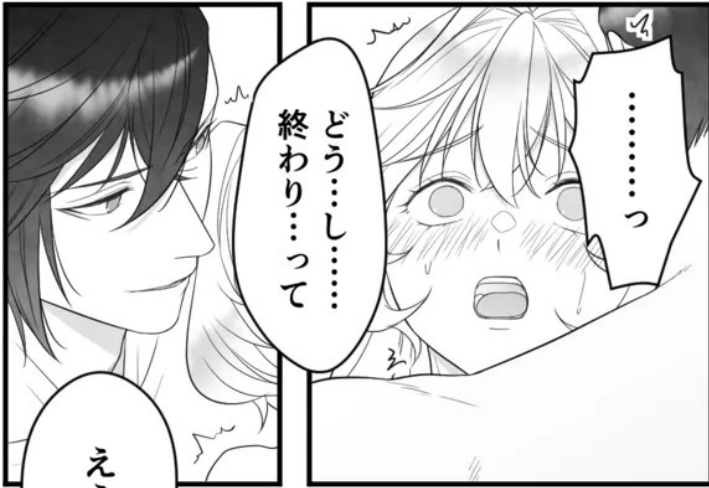
ちゃ...っ

せり
せり...
せり

どほんこっ

ちがっ...
ちがっ...







キスも初めてと
聞きました

随分いやらしい体を
しているんですね

はは……

また
潮なんて吹いて

は



ゆり……うす
ゆり……うす

ゆり……うす

ゆり……うす

はちゅ
はちゅ
はちゅ



……ひ
ひどいです
わ……っ

は……

あ

ゆ……うす
さま……の
せい……
ですのに……



ふふ……
ふふふ
ああそうでした
ごめんねマリエラ
俺のせいでしたね



俺が貴女を
こんなに見だらに
させてしまった
んですね

はちゅ
はちゅ
はちゅ



ハハハハ

ハハハハ

ハハハハ

ああマリエラ

マリエラ

マリエラ

なんて
愛おしい...

ハハハハ



ハハハハ
ハハハハ
ハハハハ

誓って？

今後いっさい
俺のもとを
離れないと



ずいぞ

一生涯

永遠に

はちゅんっ

はちゅんっ

はちゅんっ

はちゅんっ

貴女は
俺のもの...

俺だけのものです

はちゅんっ



まだ意識を
手放しては
いけませんよ

マリエラ
まだです



誓いの言葉は？

ねえマリエラ

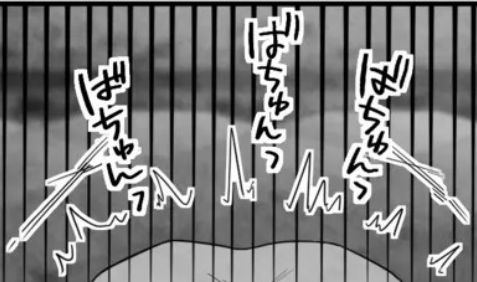
はちゅ♡♡

はちゅ♡♡

はちゅ♡♡



さあほら
誓って？



あ♡



ふふ
そうですね

ちゃんと覚えて
マリエラ

……の
ですっ

マリ……エラは……

……ゆり……
ユリウスさまの

ものです……

ああ可愛い
俺のマリエラ

これからは
ずっと一緒です



ふふ……

中が波打って
締めつけてくる…

ヒンヒン
ヒンヒン

必死に俺のを
飲み込もうと
しているようで
かわいいですね



おどおど…

きちんと蓋を
しておかないと

おっと…
いけない

ヒンヒン

ヒンヒン



これはこのために
入れてたんですよ

貴女と俺の子供…
ふふ
楽しみですね
ふふふ…



ああ…もう
聞こえてないか

おやすみなさい
俺のマリエラ

ちゅっ

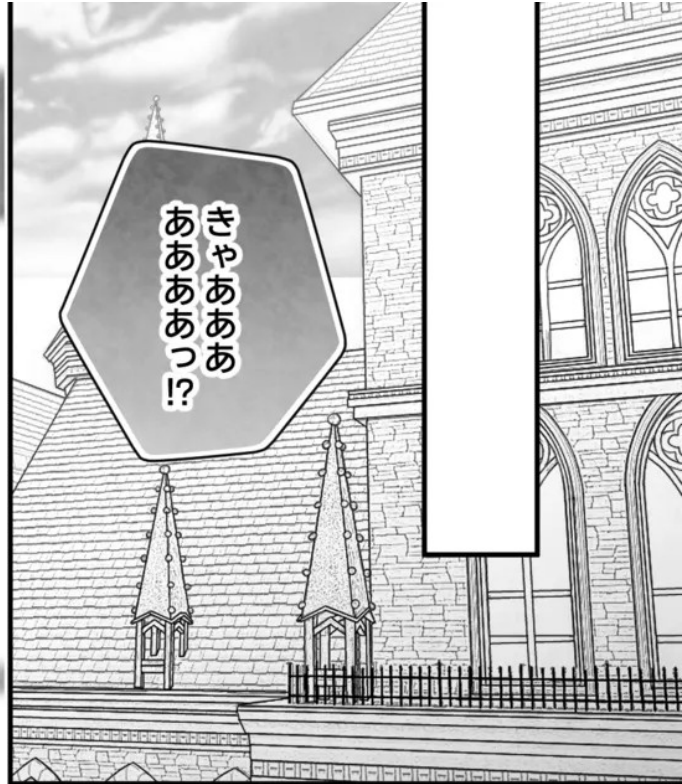


んっ…



ああ
マリエラ

おはよう
ございます



きゃあああ
あああっ!?



まっ
また……!

もじっ

もじっ

どうして
こんなことを
なされるのですっ!?



お茶を
淹れましたが
いかがですか?

……
っ



おや朝から
ご機嫌ななめ
ですね……

ふふっ
その顔も
可愛い

まじめに聞いて
くださいませっ

うん



カチャ

どうして
こんな事を
するのかと
言いましたね

私も方法を
いろいろと
考えたのですが

貴女を私のそばに
置いておくためには
貞操を奪ったあけく
孕ませて帰れない体
にするのが最善かと
思いました……

本当は物理的に
縛りつけておきたい
くらいですけど

いきなり
すごい事を
仰るわね……

物理的に……?

ですがいざ
実践してみたら
貴女の体を暴いて
いくことに快感を
覚えてしまい……

えっ

つまり普通に
楽しんだという
ことね……?



誓いの言葉も
交わしましたし

これからも
ずっとここで
過ごしましょうね
マリエラ

キィ



そういえば昨日
夢中で忘れて
しまった事が……

今日は後ろにも
入れようと
思うのですが
いかがでしょう

なっ……

あと貞操帯も
作らせましょう

ずっと
着けるんですよ

いいかげんに
してくださいませっ

この度はお目に留めていただきありがとうございます。

描いているうちに予定より長くなってしまい、王子の小さい頃の話や第二王子の噂の誤解が解けるエピソードなど削ってしまった部分があったため、少々心残りもありますが少しでも楽しんでいただければ幸いです。

また機会がありましたらお読み頂けると嬉しいです。

鷹司みか/ever after

